

新型コロナウイルス対応 令和2年度 7月補正予算案

～フェーズに対応した機動的な予算編成 第五弾～

国制度の詳細判明を踏まえ、
6月補正を補完

7月補正

6月補正

4月補正

3月補正

2月補正



皆様へのお願い

システムに登録し、お店等にQRコードを印刷、掲示して下さい。

兵庫 コロナ 追跡 で検索



●兵庫県新型コロナウイルス追跡システムサイト

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk39/covid19_chase.html

(7月10日公開)

令和2年7月16日 兵庫県



1 予算規模	・ ・ ・ 1
2 医療入院体制等の強化	・ ・ ・ 2
3 感染症対策の強化	・ ・ ・ 4
4 医療従事者等への慰労金	・ ・ ・ 5
5 地域経済の早急な活性化・地域の元気づくり	・ ・ ・ 7

予算規模

- これまで国交付金等を活用し、喫緊の課題に対応するため4度にわたり補正予算を編成
- 今般、国交付金の制度詳細が判明したことから、6月補正を補完する7月補正予算を編成

〔これまでの補正予算〕

	R1年度2月	R1年度3月	R2年度4月	R2年度6月	R2年度7月	計
医療・検査体制の強化	5.0億円	14.7億円	121.7億円	768.3億円	441.2億円	1350.9 億円
地域経済活性化・地域の元気づくり	—	13.1億円	3794.6億円 〔うち預託金 3591億円〕	321.9億円	32.1億円	4161.7 億円 〔うち預託金 3591億円〕
ポストコロナ社会	—	—	—	29.8億円	—	29.8 億円
計	5.0億円	27.8億円	3916.3億円 〔うち預託金 3591億円〕	1120.0億円	473.3億円	5542.4 億円 〔うち預託金 3591億円〕

※ 新型コロナウイルス感染症対策以外の補正予算を除いた金額

入院医療体制等の強化①

➤ 感染がさらに拡大する局面を見据え、国の専門家会議で示された「新たな流行シナリオ」も参考に、病床確保のフェーズを見直し

試算

ピーク時患者総数1294人
入院患者数642人(うち重症93人)
宿泊療養者数652人

フェーズを追加

	感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期①	感染拡大期②
目安 (新規陽性患者数 (1週間平均))	10人未満	10人以上 (再警戒基準)	20人以上	30人以上	40人以上 <small>本県の1日あたり最大数 42人(4/11)にも対応</small>
病床 (うち重症病床)	200床 (40床) <small>新規感染15人/日に対応</small>	300床 (50床) <small>新規感染20人/日に対応</small>	400床 (70床) <small>新規感染30人/日に対応</small>	500床 (90床) <small>新規感染40人/日に対応</small>	650床 (120床) <small>新規感染55人/日に対応</small>
宿泊療養室	200室 (2施設)	200室 (2施設)	300室 (3施設)	500室 (4施設)	700室 (5施設)

「次なる波」の想定



入院医療体制等の強化②

➤ 一般医療を過度に圧迫しないよう、**重点医療機関**および**協力医療機関**をあらかじめ指定

重点医療機関 (30機関)	協力医療機関 (16機関)	一般医療機関 (1機関)
● 専用の 病院 や 病棟 を確保	● 確定診断までの間、 疑い患者 専用の病床を 個室単位 で確保	● 重点・協力医療機関を除く

1 病床確保 (補助基準額の見直し)

補正予算額 **10,071**百万円

区分	現行		今回変更	
	重点医療機関	一般病院	重点医療機関 協力医療機関	一般病院
I C U病床	301,000円/床	97,000円/床	同左	同左
H C U病床	—	—	211,000円/床	—
重症病床	123,000円/床	77,000円/床	—	同左
その他病床	52,000円/床	52,000円/床	同左	同左
休止病床	40,000円/床	—	52,000円/床	—

※ I C U : 集中治療室、H C U : 高度治療室

3 宿泊療養施設の借上・運営

● 運営委託費の実績増

補正予算額
696百万円

2 入院医療機関の運営補助 (対象を拡充)

補正予算額 **93**百万円

対象者

- 感染症患者の入院治療を行う医療機関
- **疑似症患者**の入院治療を行う医療機関 (追加)

(補助額
入院患者1人あたり**12**千円/日)

4 PCR検査体制の拡充

● 検査機器の設置を支援

現行	今回変更
1,500件/日	2,500 件/日

補正予算額
285百万円

感染症対策の強化

➤ 福祉施設や学校等の感染症防止対策について、国制度詳細の確定を踏まえ、補助単価等を見直し

補正予算額 **6,430**百万円

事業区分	見直し内容	補正額
感染症拡大防止対策支援金	<u>単価設定の変更</u> （施設あたり → 利用者あたり） [例：特養 38千円/定員]	4,854百万円
利用自粛からのサービス再開支援金	<u>単価設定の変更</u> （施設あたり → 利用者あたり） [例：介護 訪問3千円/利用者、電話1.5千円/利用者]	761百万円
救護施設に対する支援	<u>対象経費の追加</u> [職員向け研修費用（感染防止マニュアル作成等）]	1百万円
福祉施設向け相談窓口の設置	<u>対象経費の追加</u> [派遣指導やメンタルヘルス相談]	489百万円
児童養護施設等への支援	<u>対象経費の追加</u> （施設あたり → 利用者あたり） [臨時休業中の職員体制の維持等]	109百万円
事業区分	見直し内容	補正額
学校再開に伴う対策	<u>単価設定の変更</u> （人数基準の設定） [例：中学校・301人～500人 3,000千円/校]	216百万円

医療従事者等への慰労金①【対象の拡充】

- 6月補正において、一部先行措置していた慰労金について、詳細な制度設計を行い対象を拡充
- 医療従事者や福祉関係者、50万人で、概ね全ての関係者が対象となる。

補正予算額 **26,544**百万円

県独自

区分	医療	介護	障害	救護	児童福祉
要件	①対象期間（3/1～6/30）中に10日以上勤務 かつ ②患者・利用者と接する従事者				
対象施設	20万円	実際に患者等を受入れ	感染者が発生、濃厚接触者に対応	感染者が発生	
	10万円	実際には患者等を受入れず	—		
	5万円	県内の感染症対策に一定の役割を担った施設等を対象に、県として制度趣旨に即した支給対象範囲を明確に整理（次ページ参照）			

対象者	約19万人	約22万人	約9万人	約50人	約100人
想定額	20,094 百万円	15,905 百万円		19 百万円	
（今回補正額）	(10,684) 百万円	(15,860) 百万円		(-)	

医療従事者等への慰労金②【対象範囲（拡充分）】

医療機関

①～⑤の
「いずれか」に該当

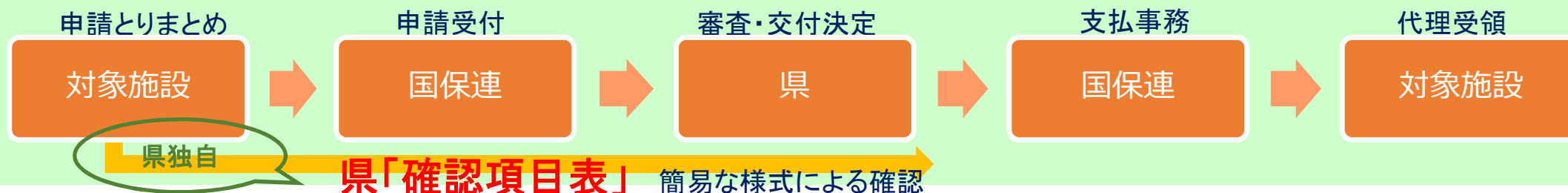
- ① 2次救急輪番等を代替
- ② その他、救急・急患に対応（例：救急告示医療機関、初期救急医療機関、在宅医療機関）
- ③ 疑い患者へ対応（例：内科、小児科、耳鼻咽喉科、訪問看護ステーション等）
- ④ 飛沫感染等のリスクへの対応（例：歯科、産科・産婦人科、助産所）
- ⑤ 感染症対策を実施（例：患者等への相談・指導、リーフレット配布やポスター掲示）

福祉施設

①～⑤の
「いずれか」に該当

- ① 感染発生時の協力（応援職員の派遣や代替サービスの提供 又は その予定）
- ② 感染リスクの高い利用者に対応（発熱などの症状の利用者に対応）
- ③ 代替サービスを実施（通所サービスができなかった利用者に対して訪問サービスを提供）
- ④ 利用者の新規受入れを実施（他の施設を利用できなかった利用者の受入れ 又は 準備）
- ⑤ 感染症対策を実施（利用者等へのリーフレット配布やポスター掲示等）

【スキーム】



地域経済の早急な活性化・地域の元気づくり①

緊急生活福祉資金貸付

補正予算額 **2,000**百万円

- 一時的な資金が必要な方への貸付原資の助成を拡充

R2.6末	R2.7~9	R2.9末
貸付原資残高	貸付決定見込	貸付減資残高見込
10,609百万円	12,600百万円	▲1,991百万円

○本県の有効求人倍率

R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
1.40	1.31	1.26	1.21	1.13	1.05
0.00	▲0.09	▲0.05	▲0.05	▲0.08	▲0.08

○コロナ関連倒産(7.9時点)

全国	本県
318	14

緊急対応型雇用創出事業

補正予算額 **1,000**百万円

- 離職を余儀なくされた労働者等へのつなぎ雇用

実施規模：500人

※内容は今後の雇用情勢を踏まえ検討

ひょうご緊急雇用対策プログラム 4月補正:100人

緊急雇用対策職業訓練 4月補正:400人

各市町雇用対策 約200人

緊急対応型雇用創出事業 7月補正:500人

消費生活推進モデル事業

補正予算額 **10**百万円

- 消費者トラブルやポストコロナ社会を見据えた消費者教育や啓発

企画提案コンペ方式で実施

新型コロナウイルス

新しい生活様式
(通販、電子決済)

エシカル教育(※)の推進

ポストコロナ社会

(※)不確かな情報に騙されることなく、自ら考える倫理的な消費行動(生活関連物資の一時的な品薄のために買いための行動を取らないなど)

地域経済の早急な活性化・地域の元気づくり②

Welcome to Hyogo キャンペーンの拡充 (6/26ひょうご観光本部発表分を予算化)

宿泊割引支援事業

補正予算額 **201**百万円

区分	現行分	追加分
時期	6/26～(完売)	7/10～募集中
対象者	全国	近隣府県
手法	旅行会社サイト 割引クーポン	宿泊施設に申し込み 精算時に割引適用
補助額	2,000円	同左
人数	1,000人	50,000人
所要額	2百万円	1億円

ひょうご五国のバス旅支援事業

区分	現行	変更
時期	7/10～募集中	同左
対象	県内旅行事業者	同左
補助額 件数	【日帰り】@3万円 【宿泊】@6万円	【日帰り】@5万円 【宿泊】@10万円
所要額	77百万円	134百万円(+57)

ひょうごツーリズムバス実施事業

区分	現行	変更
時期	6/26～募集中	同左
対象	県外からのバス借上	同左
補助額 件数	【日帰り】@3万円 【宿泊】@6万円	同左
特産品	—	1,000/人 贈呈
所要額	114百万円	158百万円(+44)

